

Vol.6

スイス



東嶋和子の

Energy満タン！

世界紀行



Vol.6

スイス

東嶋和子

Wako Tojima

科学ジャーナリスト・青山学院大学非常勤講師



スイスといえば、山と湖。食いしん坊ならチーズ、チョコレート。加えて、シャーロキアン（シャーロックホームズおたく）にとって絶対はずせない場所があります。英国の作家コナン・ドイルの小説『シャーロックホームズ最後の事件』で、名探偵ホームズが宿敵モリアーティ教授もろとも墜落した現場「ライヒエンバッハの滝」です。

スイス中部のマイリンゲン。ローゼンラウイ氷河とブラウ氷河から流れ出る水が谷沿いに集まり、7つの滝となって流れ落ちるライヒエンバッハの滝は、力強い流れと風景美で古くから人々を魅了しています。1899年開通の赤いケーブルカーに乗って、さあ出発。パンフレットには、こんな説明があります。……1891年にこの地を訪れたコナン・ドイルは、「the thundering waterfall」に感銘を受け、彼のヒーロー・ディテクティブの終焉の舞台に選んだ、と。雷のような滝の迫力に息をのみつつ、ホームズの書割で「なりきり写真」を撮ったり、資料館を覗いたり。空想の話とはいえ、ホームズが突き落とされた現場には、マークがついています。

マイリンゲンは、シャーロキアンの”聖地”ともいえる観光地。ホームズ記念館、ホームズらが泊まった宿、コナン・ドイル広場まであります。訪ねた日は自転車レースが催されていて、町はお祭り騒ぎ。ホームズやモリアーティに扮した人々が練り歩き、気さくに写真に納まっていました。

ここからほど近いアルプス山中の地下数百メートルの場所では、原子力発電所から出る高レベル放射性廃棄物の地層処分の研究がおこなわれています。スイス国立水文学・地質調査所、放射性廃棄物管理協同組合（NAGRA）に、日本なども含む国際共同研究です。岩盤にトンネルを掘った地下研究所では、放射性廃棄物の影響や放射性物質のふるまいについて研究するほか、廃棄体の実物大モデルを展示して地元の子供から観光客まで広く知ってもらう取り組みもしています。トンネルの壁には、地球の歴史を見せる年表がありました。高レベル放射性廃棄物は、放射能が十分低くなるまで長期にわたって生活環境から遠ざける必要がありますが、



ライヒエンバッハの滝



その期間は実感しにくいものです。地球史と比べることで、隔離期間が想像しやすくなるのです。

スイスは2008年に処分地の選定を開始し、地質学的候補地域を含むスイス全土のマップを公開しました。2018年から第3段階として、3か所の候補地域について審査が行われています。

アルプスを抱えたスイスは、「欧洲の給水塔」と呼ばれるほど水力資源に恵まれています。また、揚水発電は欧洲の電力の安定供給に役立っています。一方、化石資源はほぼ輸入頼み。エネルギー自給率が47%（2016年）と健闘しているのは、水力、原子力を大いに利用しているからです。この電力構成が、二酸化炭素の排出抑制にもつながっています。

1986年のチョルノービリ（切尔諾ブイリ）原発、2011年の福島第一原発と、事故のたび脱原発に傾いたスイスは現在、原子力発電所の新設は認めていません。ただし、運転中の発電所の早期閉鎖はリスクがあるとして、原子力安全規制機関が安全とみなす限りは運転を認めています。

原子力産業新聞（2022年3月11日付）によると、2019年に経済的な理由で1基が閉鎖し、現在は4基で総発電量の約33%を供給しています。スイスの原子力フォーラムが同年2月におこなった世論調査では、新設を禁止する法令に懐疑的な国民が多数派を占めたそうです。その理由として、エネルギー供給への不安や温暖化防止目標の達成が挙げられています。法律による原子力発電所の新設禁止については、回答者の45%が同意した一方、49%は「新設するか否かはケースバイケースで国民に判断の機会が与えられるべきだった」と答えています。

（2022年4月）



●資料出典

Web原子力産業新聞2022年3月11日
『平成30年度国際エネルギー情勢調査（諸外国のエネルギー政策動向及び国際エネルギー統計等調査事業）
諸外国のエネルギー政策動向に関する調査報告書－経済産業省資源エネルギー庁委託調査』日本エネルギー経済研究所
『みんなの知らない世界の原子力』海外電力調査会編著、日本電気協会新聞部発行

PROFILE

東嶋和子 とうじまわこ／科学ジャーナリスト・青山学院大学非常勤講師

筑波大学卒。在学中、米国カンザス大学に文部省交換留学。読売新聞社科学部記者を経て独立。「いのち」をキーワードに科学と社会の関わりを追っている。主な著書に『水も過ぎれば毒になる 新・養生訓』『人体再生に挑む』『放射線利用の基礎知識』『死因事典』など。外務省外交フォーラム外務大臣賞、原子力学会社会・環境部会優秀活動賞受賞

ほくげんこん

北陸原子力懇談会

〒920-0918 金沢市尾山町9-13 金沢商工会議所会館3F
TEL 076-222-6523 / FAX 076-222-8925
URL: <https://h-genkon.jp>



2022.4